

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル つなぐいえ

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

採光、通風、広さに問題のある木造住宅を耐震補強。垂木を替え合板で剛性を高めた屋根にその効果が見て取れる。自然素材による開放的なスキップフロアが上下の視線を集め、家族一人ひとりの動きが読める居場所になった。



増築部分・リフォーム部分：玄関は新たに増築部分に作られ、リビングは和室（客間）になった。

増築部分：リビングダイニング、増築部分は既存のプライベートルームとリフォームによって得られた和室やリビングダイニングと学習室などを通して家族をつなげる役目を果たす。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【目的】大工だった父（故人）と共に平成8年に建築した住宅を、子供の成長に合わせて、学習室と家族の集まる部屋を持つ「もっと楽しい家」にする。

【設計のポイント】新たに増築する部分を通して、①建物の耐震性を向上させ、②室内環境の快適性を高める。増築部は4面の殆どを鉄筋や木製の筋交いで固め、この強い「耐震BOX」を杖として、既存部を補強された大屋根を含めた耐震部材により接続して支える。開口部の多い増築部は光と風が既存部分に提供されることにより、暗く閉鎖的だった空間は自然素材をふんだんに使った明るく開放的な空間とした。増築部はスキップフロアとし、既存部分の南面部分を大きく覆うことにより家族同士のつながりを高め、つながる事により耐震性を高め、耐久性を高く、父と一緒に作ったこの住宅を次の世代へつなぐ役目をする。

【課題点】①筋交配置バランスが悪く保有耐力が0.87。②ダイニング南には玄関があり採光と通風が遮られ、リビング前は道路に面していて在宅時に開放して充分な採光と通風を取り込むことが出来ない。

【施主の感想】何処も居心地がいい。家族それぞれ気分によって居場所を変えて楽しんでいるが、いつでもお互いの気配を感じられる。

性能向上の特性
耐震性能、耐久性能、温熱性能、防音・遮音性能、防犯性能、室内空気環境

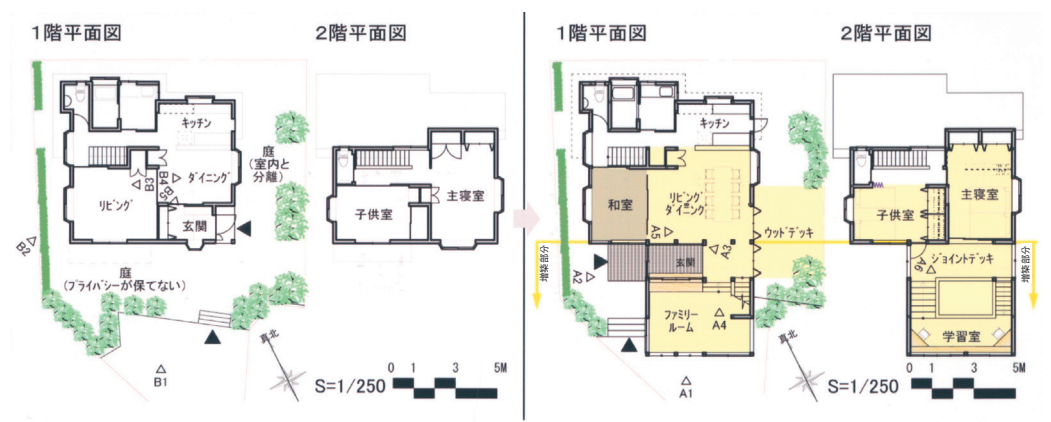
特に配慮した事項
環境共生住宅でありながら高い耐震性とデザインを融合させるため構造家と共に構造体を直接デザインして木造建築の美しさを十分に味わえる空間構成とする。

データ
所在地 静岡県富士宮市
該当工事面積 116.47 m²／総工事床面積 116.47 m²
居住者構成 15歳以上65歳未満：2人／65歳以上：2人／65歳未満：2人／ペット：2人／ベット：2人

築後年数 15年
施工期間 120 日間
該当部分工事費 1,630 万円／総工事費 1,630 万円
担当者 原 達也、原 一美

設計会社 原空間事務所 一級建築士事務所
施工会社 (有) 佐藤工務店
担当者 佐藤 正明

リフォーム前



リフォーム部位：居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分